特集

第14回 通常総代会

第14回通常総代会が6月27日、能代市文化会館で開かれ、第14年度事業報告及び剰余金処分案、平成24年度事業計画などの全提出議案を原案通り承認しました。

総代会には、総代495人のうち、実出席が234人、書面議決が198人、委任状が4人の、合わせて436人が出席しました。

はじめに袴田組合長が、「現在、世界経済の不振や東日本大震災に伴う問題、またTPP交渉などで産業の空洞化や食の安全性が懸念されている。当JAでは地域の『食と農』を守るため、今年秋から稼働するカントリーエレベーターを活用し、地域農業の振興と農業所得の向上に取り組んでいく。」と挨拶を行いました。

その後、永年勤続表彰や来賓祝辞などが行われ、永井幹雄さん（能代地区）を議長に議事を開始し、全提出議案が原案通り承認されました。

◎経営健全化に取り組む

23年度決算では、出資金が20億3，735万円、自己資本が26億207万円となり、自己資本

第14回　通常総代会提出議案

＜報告事項＞

報告事項1	ＪＡバンク基本方針の変更について
報告事項2	第14年度（平成23年4月1日から平成24年3月31日）貸借対照表、損益計算書及び注記表の内容並びに全国監査機構の監査報告及び監事の監査報告について

＜提出議案＞

議案第1号	第14年度事業報告及び剰余金処分案の承認について
議案第2号	定款の一部変更について
議案第3号	平成24年度事業計画の設定について
議案第4号	平成24年度経費の賦課金額、賦課の方法、徴収時期及び徴収方法の決定について
議案第5号	平成24年度理事及び監事の報酬決定について
付帯決議1	決議事項中、行政庁の認可を必要とするものについて、総代会決議の内容を変えない字句等の修正加除は理事会に一任する。
2	年度途中で、事業計画の一部について軽微な変更を要するに至ったときは、理事会で計画の変更ができることを承認する。
特別決議1	ＴＰＰ交渉に反対する特別決議（案）